

# A

# 環境・微生物



## 「マングローブの樹木と微生物を観察しよう！」



浦内川河口域（西表島）

沖縄のマングローブ、そこにいる生物のこと…どれくらい知っていますか？



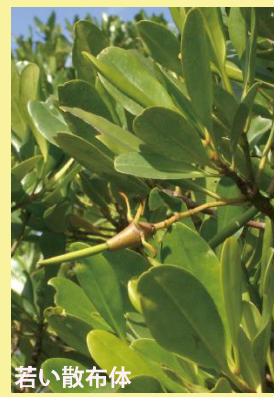
ヤエヤマヒルギの支柱根

マングローブの根は酸欠と塩分に耐えて、水を吸収し、体をささえます。だからヤエヤマヒルギはこんな形をしているのかな？



メヒルギ *Kandelia candel*

メヒルギは、花が咲いて果実ができると、そのまま木の上で種子が発芽してします。そうすると何かいいことがあるのかな？



若い散布体



分離された内生菌

健康な茎や葉、実の中にも、いろいろな微生物がすんでいます（樹木内生菌）。取りだして見ることのできる菌もいます。



メヒルギ枝枯病

陸上の樹木と同じように、病気にもかかります。病気を起こす微生物も塩分などに耐えてくらししているのかな？

マングローブの体の組織や、一緒にくらししている微生物の孢子や菌糸の標本をつくって、性能のよい顕微鏡で観察してみましょう。小さなマングローブの林にも、さまざまな特徴をもった、たくさんの種類の生き物がいることがわかります。この豊かな命がつくりだしている生態系をまもることが、沖縄の未来につながっています。